

議事概要記録

開催日時	平成27年2月28日(土) 11:30 ~ 13:30	開催場所	有田川温泉 鮎茶屋 2階 飛鳥
会議種別	平成26年度 第7回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、瀧口 良重、久保 光史、神藤 洋次、 石井 啓子、脇村 小津江、田原 靖子、 村田 正吾、勝山 浩樹、16名		
欠席者 〈敬称略〉	玉置 達紀 (近畿支部幹事会出席のため)	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第6回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 第36回和歌山県医学検査学会進捗報告 7. 表彰審査委員会報告 8. 平成28年度日臨技近畿支部医学検査学会進捗報告 9. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア)公益事業活動 (イ)定款・渉外 (ウ)精度管理 (エ)データ標準化 (オ)会誌編集 (カ)ホームページ (キ)会報 (ク)月例行事予定表 10. 連盟 11. その他 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページより 事務局より 総会について ピンクリボン南紀 後援名称依頼について <p>確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設連絡会議について 		

定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。

議長より、玉置会長が近畿支部幹事会出席のため理事会欠席の報告があり、会長報告は竹中副会長より会長代行として報告がある旨の説明があった。

ひき続いて、竹中副会長より挨拶があった。

報告事項

会長報告（副会長代行）

2月11日に、第19回和歌山県病院協会学術大会、第15回病院大会があり、和臨技から木下学術部長が一般演題に、久保理事がシンポジストとして登壇した。

3月11日に和歌山県庁内・正庁で平成26年度医療従事功労者賞授与式が開かれる。当会からの被表彰者は大石博晃常務理事、来賓として会長が出席する予定との報告があった。

第6回常務理事会報告

畑副会長から第36回和歌山県医学検査学会について、進捗報告があった。

木下表彰審査委員長から、平成26年度会長賞候補者の推薦について報告があった。

田中事務局から総会議案書について草案を提示し、内容について審議した。

施設連絡責任者会議において、日臨技より横地専務理事が検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について説明を行い、来県することが報告された。

ピンクリボン南紀後援名称使用依頼について審議し、引き続き理事会で審議したいと報告した。

クロネコメール便廃止について、今後の対応を検討したと報告した。

日臨技・宮島会長より、平成27年度和歌山学会で和歌山会員に向けて、臨技法の一部改定に伴う今後の方針・方向性について説明をしたい旨の申し入れがあった。次年度の和歌山学会は延期するが、精度管理報告会等の事業は行うので、その時に招聘依頼することで調整する旨の報告があった。

和歌山県立医科大学医学振興会助成制度について、27年度は、災害フォーラムと検査説明・相談が出来る臨床検査技師育成講座の2事業について申請すると報告した。

事務局報告

1月27日に宮島会長から、和歌山派遣への日時調整依頼があった。

1月21日に災害フォーラムの様子が、THE MEDICAL & TEST JOURNALに掲載された。

1月28日に日臨技より会員サービス規律徹底への周知以来があった。

2月8日にピンクリボン紀南より、当会への後援名称使用依頼があった。

2月13日に県医務課より平成26年度医療従事功労者賞の大石常務理事受賞決定通知があった。

2月13日に久保精度管理委員長より和臨技サーベイ外れ値報告施設への是正報告提出の要請が発信された。

学術部報告

2月7日に学術部研究班班長班員会議を、近畿支部学会で使用予定の橘ビルで行ったと報告があった。視察を兼ねて行き、使用に問題はない旨の報告があった。

27年度より、日臨技学術体制に合わせて8班体制（臨床化学と免疫血清が統合）で

決議事項
及び
継続事項

学術活動すると報告があった。

平成 26 年度勉強会開催実績について、勉強会回数は 28 回（基礎 1 回・専門 27 回）であったと報告があった。

26 年度日臨技推進事業助成金について、19 件申請し全てが承認されたと報告があった。27 年度は 20 件すべて申請すると申し出があった。

平成 27 年度和臨技オリエンテーションについて、新人技師対象講義は輸血班・免疫血清班から行う旨の報告があった。

第 18 回学術部一泊合同研修会は、かんぽの宿 紀伊田辺にて 6 月 20 日（土）・21 日（日）開催する旨の報告があった。症例検討については、細胞病理と血液から出題するとのことであった。

平成 27 年度日臨技近畿支部研修会、微生物検査班研修会は和歌山県が担当であり、11 月 28・28 日に和歌山市で開催する予定と報告があった。

経理部報告

平成 27 年度予算案について、修正案が提示され詳細な説明があった。報告を兼ねて、承認を得た。

第 36 回和歌山県医学検査学会進捗報告

意見交換会は 112 名の参加と報告があった。宿泊も 55 名で満室とのことであった。また、検査学会の運営について協力要請があった。

第 37 回和歌山県医学検査学会開催延期について

和歌山市地区理事および紀北地区理事にてメール会議を行い、近畿支部医学検査学会開催に伴い和歌山学会開催は非常に厳しいので、延期したい旨の答申を玉置会長に具申した。会長より許可が得られたので、次年度和歌山学会は延期すると報告があった。

※村田監事より、次年度開催しない学会の予算が次年度予算案に計上されていることに問題はないかと指摘があった。この件について理事会で審議した結果、予算は計上するが、未使用として次年度繰越として処理することで問題は無いと判断した。

表彰審査委員会報告

平成 26 年度会長賞について審査したと報告があった。被推薦者は、日本赤十字社和歌山医療センター 湯川有加 技師「電気生理学的検査が頸椎症性脊髄症との鑑別に有用であったギラン・バレー症候群の 1 例」を会長に答申すると報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

第 16 回医療セミナー in わかやまについて、11 月 14 日に開催予定。和歌山医大検査部で「頸動脈エコー検査」を行い、両側の総頸動脈・外頸動脈・内頸動脈をスキャンし、IMT とプラークの有無のみを判断、参加者に結果を返す計画との報告があった。先着 70 人を 7 台の超音波診断装置で、90 分以内で検査する計画とのことであった。

ピンクリボンは特に進捗等はなしとのことであった。HIV/STI について、27 年度和大祭が 11 月の 3 連休開催予定とのこと。また、病院協会学術大会は 11 月 1 日予定と報告があった。11 月は公益事業の企画が続くので、皆の協力を頂きたいと畑副会長から要請があった。

また、災害セミナーについても、次年度も開催すると畑副会長から申し出があった。

定款・渉外

特になし

精度管理

是正報告書発行について報告があった。一般検査 3 施設、血液 4 施設、臨床化学 20 施設に対し是正報告書の提出依頼を送付し、回収率は 100%とのこと。

本報告書について非公開とするが、今後どのように情報公開するか検討する必要があるとのことであった。また、是正報告書を配布する時期も検討する必要があると報告があった。

是正報告書の提出対象になる明確な基準がない中での運用には、問題があるのではないかという意見が委員から有ったと報告があった。よって、次年度の精度管理事業の概要には、明確な基準等を明記する必要性があるとのこと、今後の委員会での検討課題にすると報告があった。

また、正報告書発送や回収方法についても見直し、発送・回収の一元管理も含めて検討課題にすると報告があった。

施設内のコントロール測定や他サーベイでは問題が無かったために特段今は問題無い、と言う後ろ向き回答も見受けられたため、和臨技サーベイでの是正報告書の存在価値をどのように見出していくか、今後委員会一丸となって考えていきたいとのことであった。

委員負担を減らす意味で、外部委託が出来ないかという意見があったが、無料で行っている事業のため難しいであろうとのことであった。

メーカーと協賛したいと言う一部の研究班からの申し出があったが、一般社団法人の事業という性格上、メーカーとの協賛は認められないと判断した。

データ標準化

日本臨床検査標準化協議会・基準範囲共用化委員会より和歌山県での本共用基準を導入している調査依頼があったと報告があった。

和歌山県下においては、対応施設なしと報告するとのことであった。

会誌編集

26 年度、会誌和臨技第 42 巻はすでに発行を終え、会員に配布を終えたとの報告があった。

会誌を PDF 化し、CD 媒体にて事務局預かりにしてはと提案があった。また、論文請求の参考にするため、会誌表紙を和臨技ホームページに掲載し、バックナンバーを検索できるようにしたい旨の提案があり、全て承認された。

ホームページ

特になし

会報

只今編集中とのこと。未入稿の方は早急にお願いしますとのことであった。締め切りは3月10日頃と報告があった。

月例行事予定表

特になし

連盟

本日、運天近畿ブロック長が来る予定であったが、近畿支部幹事会が有るため来れないとのことであった。

26年12月末で約2800~2900人の連盟会員登録であった。年明けから、既会員の継続入会を促し、かつ新規と再入会会員を増やす旨の全国意思統一でもって活動することであった。

具体的な目標として10,000人(組織率で20%)を目指した勧誘活動を行うとのことであった。

ノボリとハッピーを着て、学会両日に会員に入会を促すとのことであった。

その他

病院協会の学術大会について、公益事業を中心に和臨技からも積極的にエントリーすることを確認した。

審議事項

ホームページ委員会より

ホームページ委員長より、広告バナーを含めた企業HPへリンクについて審議依頼があった。

時期尚早と判断し、引き続き他府県の動向をみることにした。

事務局より

総会について

表彰式は総会式次第から外し、総会前に行うこと

事業経過報告は、事業活動内容を箇条書きにすること

各事業報告はその担当理事が登壇して経過を報告すること

事業計画案も担当理事が登壇して予定を述べること

収支報告は議案書に載せずにホームページに掲載し、会員に審議して頂くこと

資格審査委員として理事1名、各地区から選出された会員3名の4人で行うことについて提案し審議を得て承認を得た。

また、議案書の内容については別途配布し、27年度最初の理事会において審議することで承認を得た。

定款と総会運営の相違点は、定款検討委員会等で審議し、定款の修正を行い 28

年度総会で承認を得る方向であることを確認した。

ピンクリボン南紀 後援名称依頼について

ピンクリボン南紀より当会の後援名称使用依頼があったことについて、理事会で承認を得た。

確認事項

施設連絡会議について

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について、日臨技・横地専務理事から説明があること。

会長報告、公益報告、学術報告、連盟報告を前半の 20 分、後半全てを横地専務理事からの説明に時間をまわすこと。

について確認した。

補足

公益事業予算（セミナーと検査展）の再提出があった。

記録作成	平成 27 年 3 月 21 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 27 年 3 月 22 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可